

2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月9日

上場会社名 株式会社 大田花き
コード番号 7555 URL <https://otakaki.co.jp>
代表者 (役職名) 代表執行役社長
問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理本部長
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3799-5571

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	843	8.7	5	79.1	33	33.1	20	38.2
2024年3月期第1四半期	924	4.9	24	56.9	49	35.0	33	34.0

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 20百万円 (38.2%) 2024年3月期第1四半期 33百万円 (34.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	4.11	
2024年3月期第1四半期	6.64	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	8,058	5,000	62.0	982.81
2024年3月期	9,237	5,040	54.6	990.71

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 5,000百万円 2024年3月期 5,040百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		0.00		12.00	12.00
2025年3月期(予想)		0.00		12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,765	9.1	212	3.7	287	1.3	203	11.8	40.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	5,500,000 株	2024年3月期	5,500,000 株
2025年3月期1Q	412,326 株	2024年3月期	412,326 株
2025年3月期1Q	5,087,674 株	2024年3月期1Q	5,087,674 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復傾向にあるものの、業種や地域によって二極化が進みました。また可処分所得の減少が止まらず先行きは不透明な状況が続いております。

花き業界においては人流増加に伴い都市部におけるイベント需要やホテルなどの法人需要が高まりました。冠婚葬祭の需要も回復し葬儀では主力のスプレー菊の他トルコキキョウ、カーネーション、アルストロメリアなど多種多様な花が使われるようになりました。個人需要では若年層の購買が伸び、首都圏の専門店ではニュアンスカラー系、染め系の花が若い世代に人気でした。

首都圏の需要は堅調であった一方で高齢者の割合が高い地方では消費の力強さを欠き、明暗の分かれる結果となりました。

花きの国内生産量は生産コストが高止まりしているため減少傾向が止まらず、輸入品も天候不順と円安の影響で流通量の減少が続いておりますが、当社グループは生産者、流通業者、小売業者と協力して日本全国に花を供給できるように努めてまいります。

このような結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高843,681千円(前年同四半期比8.7%減)、営業利益5,039千円(前年同四半期比79.1%減)、経常利益33,002千円(前年同四半期比33.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益20,890千円(前年同四半期比38.2%減)となりました。

なお、当社グループは花き卸売事業単一セグメントであるため、セグメント別の記載は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は8,058,572千円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ1,138,782千円減少し3,592,738千円、固定資産は前連結会計年度末に比べ39,984千円減少し4,465,834千円となりました。流動資産の主な内訳は、現金及び預金2,034,832千円、売掛金1,197,704千円、固定資産の主な内訳は建物及び構築物2,438,474千円です。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は3,058,341千円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ1,081,821千円減少し1,712,000千円、固定負債は前連結会計年度末に比べ56,784千円減少し1,346,341千円となりました。流動負債の主な内訳は、受託販売未払金1,009,966千円、固定負債の主な内訳は退職給付に係る負債521,232千円、長期借入金329,650千円です。

純資産は前連結会計年度末に比べ40,161千円減少し5,000,230千円となりました。これは剰余金の配当61,052千円、親会社株主に帰属する四半期純利益20,890千円の計上によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して168,584千円減少し2,134,208千円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

営業活動の結果使用した資金は、73,214千円(前年同四半期は346,079千円の増加)となりました。主な減少要因は、仕入債務の減少1,139,130千円であり、主な増加要因は、売上債権の減少1,097,346千円によるものです。

投資活動の結果使用した資金は、19,943千円(前年同四半期は61,974千円の使用)となりました。減少要因は、有形固定資産の取得による支出23,418千円、無形固定資産の取得による支出4,730千円であり、増加要因は貸付金の回収による収入8,205千円によるものです。

財務活動の結果使用した資金は、75,426千円(前年同四半期は79,345千円の使用)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出72,492千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年7月31日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,197,418	2,034,832
売掛金	2,292,989	1,197,704
商品	19,698	19,336
その他	221,414	340,865
流動資産合計	4,731,520	3,592,738
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,469,717	2,438,474
工具、器具及び備品(純額)	282,215	288,076
その他(純額)	109,824	113,226
有形固定資産合計	2,861,757	2,839,777
無形固定資産		
ソフトウェア	79,233	75,058
その他	4,265	4,265
無形固定資産合計	83,498	79,323
投資その他の資産	1,560,563	1,546,733
固定資産合計	4,505,818	4,465,834
資産合計	9,237,339	8,058,572
負債の部		
流動負債		
受託販売未払金	2,126,362	1,009,966
買掛金	58,111	39,402
1年内返済予定の長期借入金	289,968	289,968
未払金	79,521	62,523
未払法人税等	50,665	20,361
賞与引当金	20,000	65,010
その他	169,193	224,768
流動負債合計	2,793,821	1,712,000
固定負債		
長期借入金	402,142	329,650
退職給付に係る負債	512,027	521,232
資産除去債務	146,936	147,402
その他	342,019	348,056
固定負債合計	1,403,126	1,346,341
負債合計	4,196,947	3,058,341
純資産の部		
株主資本		
資本金	551,500	551,500
資本剰余金	402,866	402,866
利益剰余金	4,436,564	4,396,403
自己株式	△350,539	△350,539
株主資本合計	5,040,391	5,000,230
純資産合計	5,040,391	5,000,230
負債純資産合計	9,237,339	8,058,572

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	924,323	843,681
売上原価	243,016	171,335
売上総利益	681,307	672,346
販売費及び一般管理費	657,217	667,306
営業利益	24,089	5,039
営業外収益		
受取利息	671	597
受取配当金	11,459	13,331
持分法による投資利益	10,448	6,399
その他	3,550	8,256
営業外収益合計	26,130	28,584
営業外費用		
支払利息	913	621
営業外費用合計	913	621
経常利益	49,306	33,002
税金等調整前四半期純利益	49,306	33,002
法人税等	15,518	12,111
四半期純利益	33,788	20,890
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	33,788	20,890

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）
四半期純利益	33,788	20,890
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	33,788	20,890
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,788	20,890
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	49,306	33,002
減価償却費	64,241	62,188
賞与引当金の増減額 (△は減少)	33,600	45,010
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10,859	9,204
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,743	4,743
受取利息及び受取配当金	△12,131	△13,929
支払利息	913	621
持分法による投資損益 (△は益)	△10,448	△6,399
売上債権の増減額 (△は増加)	878,458	1,097,346
棚卸資産の増減額 (△は増加)	552	266
仕入債務の増減額 (△は減少)	△496,928	△1,139,130
未収入金の増減額 (△は増加)	3,986	563
未払費用の増減額 (△は減少)	△20,086	△4,611
未払金の増減額 (△は減少)	△8,134	△17,827
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△14,917	20,793
その他	△105,716	△150,696
小計	378,297	△58,852
利息及び配当金の受取額	20,384	21,432
利息の支払額	△913	△646
補助金の受取額	23,200	—
法人税等の支払額	△74,889	△35,148
営業活動によるキャッシュ・フロー	346,079	△73,214
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△55,519	△23,418
無形固定資産の取得による支出	△13,660	△4,730
貸付金の回収による収入	7,205	8,205
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,974	△19,943
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△75,432	△72,492
配当金の支払額	△752	△548
リース債務の返済による支出	△3,160	△2,385
財務活動によるキャッシュ・フロー	△79,345	△75,426
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	204,760	△168,584
現金及び現金同等物の期首残高	1,763,921	2,302,792
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,968,682	2,134,208

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、花き卸売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。